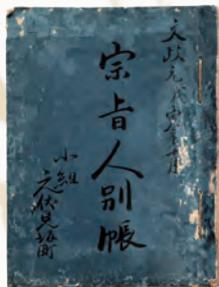


大阪の歴史・文化の価値を考える

—大阪公大に歴史文化研究拠点を—

大阪公立大学は、「大阪の歴史・文化の研究」に取り組むべき重点課題に位置づけ、この分野の研究を牽引することによって、大阪に寄与することができるはずで、2025年秋に森之宮キャンパスに移る文学研究科では、人文学学際研究センターを設置し、大阪の歴史・文化の研究拠点となることをめざしています。この講演会では、こうした目標を掲げ取り組んでいる研究を取り上げ、大阪の歴史と文化の価値を考える機会としたいと思います。



田中宏氏と収蔵資料



日時

2025年
3月29日 土

13:00~17:10

於

大阪市立大学 140周年記念講堂

大阪市住吉区杉本（大阪公立大学杉本キャンパス一階）

参加費無料・定員200名
(事前申込要 / 先着順)

※申込方法等は裏面に記してあります



JR阪和線「杉本町」駅下車。東口より本館地区に入り、正面に見える時計台のある建物です。

■趣旨説明 岸本直文（大阪公立大学文学研究科教授・日本史学）

■塚田 孝（本学名誉教授・日本史学）「日本近世文書の世界史的意義—大坂から考える—」

報告者は、江戸や大坂の都市社会史から研究をスタートさせたが、そこでは社会集団の内部構造と集団間の関係を統一的に捉えることをめざしていた。その際、民衆自身が作成した史料から分析することは当然と思っていた。21世紀に入って国際交流が発展すると、それが稀有なことだと自覚された。それは、村や町、さらに多様な仲間集団が社会に公的に位置づけられた日本近世社会（＝身分社会）の特質を反映しているのだ。そのことを「大坂」の歴史を通して考える。

■齊藤紘子（文学研究科准教授・日本史学）「大阪公大の江戸時代研究と古文書—その蓄積とこれから—」

近世大坂の古文書は、大学や博物館、図書館、地域などに多数残されており、その豊かさは近年の都市社会史研究の成果に表れている。日本史研究室では、そうした蓄積を踏まえて大学所蔵古文書の整理・公開を進め、将来的には大坂の古文書に関する基礎データを集約し発信することも構想している。その現状とこれからの課題・可能性について展望したい。

■崎島達也（経済学研究科准教授・日本史学）「大阪の近代化と同業組合」

江戸時代の株仲間は明治5年に解散となるが、同業組合の模索が始まり、大阪商法会議所の働きかけで明治14年に大阪府が新しい組合規則を設ける。明治33年には国の重要物産同業組合法の制定に至る。大阪公大にある同業組合の認可関係の公文書は、同業組合の動向を通じて近代大阪の商工業を考える重要な資料群である。公大所蔵の大阪市史編纂資料から産業関係のものを紹介しつつ、同業組合認可関係史料の研究の可能性を考える。

■伊地知紀子（文学研究科教授・社会学）「大阪の在日コリアン研究と田中宏資料」

日本の近現代史において、在日コリアンの最多集住地域である大阪で蓄積されてきた市民運動の実像を、教育・労働・司法など多角的側面から描き出す資料群について取り上げ、多文化共生社会を構築する手がかりを検討する。

■久堀裕朗（文学研究科教授・国文学）「浄瑠璃文化の広がり—大坂から全国へ—」

大阪の伝統芸能として知られる人形浄瑠璃（文楽）は、決してローカルな芸能であったのではなく、近世から近代にかけて、大坂(大阪)から様々な形で日本の津々浦々にまで伝播した全国的な芸能であった。その伝播の有りようについて、いくつかの例を挙げて概観しながら、受容も含めた浄瑠璃史研究の重要性について述べる。

■奥野久美子（文学研究科教授・国文学）「講釈・講談と近代日本文学としての講談本」

江戸時代からの講釈が、明治になって速記本として刊行されると、文庫版や長編版など、ニーズに合わせた形態で庶民の読み物として昭和期まで大流行し、作家たちも活用した。文学研究科に寄贈された吉沢コレクションから、講談本文化を探る。

■菅原真弓（文学研究科教授・美術史学〔日本美術史〕）「大坂 / 阪画壇研究の経緯と展望」

近年ようやく、大坂 / 阪画壇の研究は活況を呈しつつある。それまで、東京画壇や京都画壇を中心に語られてきた従来の日本美術史に異を唱え、大阪に焦点を当てた研究が20世紀末以来、徐々に進められつつあるのが現状だ。大坂 / 阪画壇研究の経緯と現状、そして残された課題について述べる。

※途中、20分程度の休憩をはさみます

主 催：大阪公立大学文学研究科

お問合せ：大阪の歴史文化研究拠点をめざす学際的研究事務局

gakusai.omu.lit@gmail.com

申込方法：右のQRコードからお申し込み下さい

申込〆切：2025年3月14日（金） ※但し定員に達したところで申込フォームを閉じます

注意事項：受講の可否は3月21日（金）までに、フォームにご記入頂いたアドレスにメールでお知らせします
またお申し込みの際にご記入頂いた個人情報、受講可否等のご連絡、統計資料等の作成等に使用し、利用目的以外での使用は、一切致しません

